

2011年度 福島原発事故で何が起きたか、何が問題なのか

第10回開催→ 4月14日(日)14:00-17:00

福島原発で起きたこと - その正確な実態 -

(第1回 開催済み: 館野 淳氏 (元中央大学教授・東大卒業後日本原子力研究所を経て、中央大学教授・2007年定年退職・原子力/エネルギー問題専門家・藤井編『地震と原子力発電所』(1997)館野他『動燃・核燃・2000年』(1998)館野『廃炉時代が始まった』(2000) 館野他『東海村臨界事故』(2000) 館野・野口・吉田編『どうするプルトニウム』など多数執筆)

ほか講師陣は 次頁参照

場所 : 中野区勤労福祉会館
中野区商工会館会議室
中野区教育センター など
(第10回4月14日は最下段参照ください)

主催: 特定非営利活動法人 科学史技術史研究所
中野区野方1-29-1 B-101
ホームページ: <http://ihst.jp>
メール: ihst@ihst.jp
電話 080-5901-0730

現在、福島、東京(23)区他の自治体では、独自に放射線量を測定しているように福島第一原発からの放射性物質の放出は依然として止まっています。政府は、事故収束の第一ステップはほぼ達成したと言っていますが、格納容器冷却のための給水はなおも難問で、汚染水処理能力も水漏れなどで70%ほどの稼働率にとどまっています。なおも、原子炉の安定的冷却状態を作り出すための「決死」の作業が被曝の問題をかかえながら続けられています。

政府は、「直ちに健康に問題になる状態ではない」と繰り返してきましたが、東京大学の小佐古教授は、政府の小学校での安全基準は問題(危険)で直ちに変更することを求め、内閣官房参与を辞任する涙の会見を行いました。ついに福島産肉牛は出荷停止となりました。第一原発では、炉心溶融が起きていることもようやく発表され、日本のデータ公表の遅さに外国は、不信任を募らせています。放射線量の被曝の「安全性」については、様々な議論が飛び交っています。そもそも、「福島原発事故で何が起きたのか、そこで何が問題なのか、原子力技術は今後どうあるべきか」を原子力技術の発達の歴史を振り返りながら検討していきたいと思います。(月一回 全10回、2012年3月まで)



福島第一原発事故については、徐々に実態が分かってきましたが、未だに続く高放射線量と 東電と政府・原子力安全保安院のデータ隠蔽的な情報操作によって未だに全貌が掴めません。事態の正確な把握は、今後の事故処理への対応にも不可欠なことです。今回は、今まで一貫して原発を客観的に分析して、その危険性を研究してこられた専門家として館野淳氏をお招きし、福島で起きたことは、いったいどんなことかをお話して頂きます。

第10回 4月14日(土)14:00~ 17:00 福島第一原発事故の示したものの、今後の原子力 講師: 佐野正博 (明治大学教授) -

事故から一年経ちましたが、この間様々な問題が提起されました。原発とは何か、技術とは何か、科学・技術は社会の中でどのような仕組みで成り立っているのか等々。放射能にはどう対処し、そして今後、原発はどうすればいいのか、問題提起をしていただき、参加者の皆さんと総括的に検討していきたいと思えます。

教育センター. 所在地: 中野区野方 1-35-3
<http://www.mmjp.or.jp/rmc-jyosai/map/nakashoko.htm>
早稲田通り、警察病院、中野法務局の並びです。当研究所の斜め向かい。・・・会場は、2階会議室です。

場所
中野教育センター・・・
2階会議室 電話 3385-9311

2011年度 **福島原発事故で何が起きたか、何が問題なのか**

全体のスケジュール

第一部 福島第一原発で起きたこと

- (1) 7月2日<土> **福島原発事故のあらましと問題点** (イントロダクション+映画)
高橋智子(山梨大学准教授)
- (2) 7月30日<土> **福島原発で起きたこと — その正確な実態 —**
舘野 淳(元中央大学教授)
- (3) 9月17日<土> **福島原発事故の放射能問題 — 原爆・原発・放射能 —**
野口邦和(日本大学専任講師)
(当初 9月3日の予定でしたが、変更しました。)

第2部 日本の原子力の流れ

- (4) 10月8日<土> 18:00～ **戦中の日本の核開発と広島長崎の衝撃**
山崎正勝東工大名誉教授
中野区商工会館 会議室
- (5) 11月5日<土> 15:00～
戦後の原子力の議論(1952年～1955年) 学術会議・茅・伏見提案から原子力基本法へ
山崎正勝東工大名誉教授
中野区商工会館 会議室
- (6) 12月10日<土> 15:00～
アイゼンハワー「アトムズ・フォー・ピース」演説から日米原子力協定
山崎正勝東工大名誉教授
中野区商工会館 会議室
- (7) 1月14日<土> 15:00～17:00
日本の原子力発電導入—読売新聞グループの原子力キャンペーンからコールドーホール型原子炉導入へ—
奥田謙造(東工大学術博士) +
中野区商工会館 会議室 <http://www.mmjp.or.jp/rmc-jyosai/map/nakashoko.htm>

第3部 日本の原子力とエネルギーの歴史と将来

- (8) 2月5日<日> 10:00～12:00
原子力発電をめぐる制度と産業
奥山修平(中央大学教授)
会場: **中野勤労福祉会館** <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/162000/d>
- (9) 3月3日<土> 14:00～
環境・放射能汚染から見た原子力—
高橋智子(山梨大学准教授)
中野区商工会館 会議室
- (10) 3月 日<土> 14:00～(予定)
総括的議論: 福島第一原発事故の示したもの、今後の原子力: 今後どうすればいいのか
佐野正博(明治大学教授) ほか
中野 教育センター(中野区野方1-35-3. 電話: 3385-9311)
<http://www.mmjp.or.jp/rmc-jyosai/map/nakashoko.htm>

配付資料代若干をいただくこともあります。第4回目以降は、若干変更があるかもしれません。予定変更や会場は、ホームページでお知らせします。

<http://ihst.jp/> メール連絡は、ihst@ihst.jp

特定非営利活動法人 科学史技術史研究所は、科学や技術が社会の中でどのように発展してきたかや、公害・環境問題など科学・技術の社会の中でのあり方などを検討したり、それらの関係の書籍・文献を相当数有し、会員や一般市民に閲覧提供しているNPO法人です。ホームページをご覧ください。<http://ihst.jp/>

入会も随時受け付けています。連絡は、表面のメール、または 電話 080-5901-0730までお願いします。